

令和4年度 学校評価書 (計画段階(実施段階))

福岡県立浮羽工業高等学校 全日制

自己評価						
学校運営計画(4月)				評価(総合)		
学校運営方針	日本国憲法、教育基本法に則り、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる工業人の育成に努める。					
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標				
<p>本校は、創立116年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、四年生大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、教育目標にある骨太の工業教育を永年に亘り実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が奏功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。全学科得意技コース制の積極的運用を通し、21世紀を勝ち抜く工業人を育成する。本年度、全職員で安心安全な学校生活を送れるよう「明るく、逞しく、学びを楽しみ、学びを生かす」を合言葉に、地域から愛され感性豊かで新たなニーズを創出できる学校作りを進進していく。</p>	<p>キャリア教育の充実と得意技コース制の活性化を図り、就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 充実した授業(ICT機器の活用・AL)を展開することで、生徒の学力・技能の養成に努める。 キャリア教育を充実させ、向上心に溢れ、高い志を持つ生徒の育成を行う。 資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。 				
	<p>テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ものづくり教室」や課題研究・文化祭等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。 「テクノボランティア」活動の活発化と、地域との連携を深め、その内容の充実を図る。 ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。 				
	<p>ものづくりを通じた人づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。 幅広い人づくりを推進するため、部活動を充実させる。 教員がしなやかな人権感覚をもち、道徳心やいじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。 				
	<p>広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある教育活動の実施において、広報活動の強化・充実を図る。 テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。 ホームページやSNS等、中学校訪問の充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。 				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題		
教科指導	「主体的・対話的で深い学び」の実現	ICT機器を効果的に活用し、授業改善に取り組む。 振り返りや対話活動を取り入れた授業を実践する。 指導力の向上を図り、わかる授業を展開する。	A B A	A	<ul style="list-style-type: none"> 研修課と連携をとり、研究授業や合評会を通して、ICTを効果的に活用する授業についての知識を深めていく。 学びを確認し、次につなげるための振り返りを確実に実践することで、見通しを持った授業を展開する。 きめ細やかな授業を実践し、毎時間指導と評価の一体化を図り、生徒の理解度や習熟度を把握することで生徒の実態に応じた授業改善を行っていく。 	
	授業規律と自学自習の定着	学習環境の整備と授業規律を徹底する。 考査前学習会の充実を図り、自ら学ぶ態度を育成する。 生徒情報を共有することで、生徒理解を図る。	A B A			
	生徒支援の充実	成績改善指導を通して、個に応じた学習支援に取り組む。 教科担当者や学年会、生徒サポート委員会で生徒の実態を把握する。 生徒の実態に応じて、適切なサポートを行う。	B A B			
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。	挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度を育成する。 校外の巡回指導を実施して生徒の実態を把握し、学年等と連携して規範意識を醸成する。 近隣で発生している各種事象を、学年等にも周知し、全職員で生徒の指導にあたる。	B A A	A	<ul style="list-style-type: none"> 浮工あいさつ5Sの推進に向けて、PDCAサイクルを確立し生徒達に身につくまで育成を適切に実施する。 学期毎の通学者集会を実施し、バイクの整備状況や通学マナーについて細かな確認を行う。 いじめの認知を適切に行い、早期対応・発見に加えていじめの起こりにくい環境づくり、相談体制を確率する。 	
	交通安全教育の充実を図る。	定期的に通学者集会を実施し、交通安全に対する意識向上に努める。 交通安全教室や校外指導等を通して、交通安全や交通ルール遵守の意識向上を図る。 生徒が主体となって交通安全や交通ルール順守の啓発を行う活動を実施する。	B A B			
	全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。 学校生活アンケート等を実施し、教育相談委員会にて生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行なう。 ものづくりは人づくりの観点から、人の悩みに寄り添い、支え合い共に成長していくことを啓発する。	A A A			
進路指導	進路第一志望の実現	一年次から計画的な進路希望調査、講演会等を実施し、進路への意識を高める。 二年次三学期に進路指導部による進路面談を実施し、生徒の志望を把握する。 学科、学年に企業や大学等の情報、資料を提供し、連携を図りながら体系的な指導を行う。	A A B	A	<ul style="list-style-type: none"> 一年次から進路希望調査を実施し、実態の把握に努める。また、学年団と連携し優良企業の情報提供を行うことで、指定求人枠を確保する。 四年制大学進学者、また、学科試験を課される企業の就職を希望する者に対し対外模試等を実施することで学習意欲を喚起し、基礎学力の定着を図る。 あいさつ5S運動に加え、進路指導室の利用の仕方等を徹底し、面接時に必要なマナーや規律を徹底する。 	
	基礎学力の定着と資格取得の推進	基礎力診断テストや作文模試、SPI検査等対外的な模試を実施し、学力を客観的に考察させ、学習意欲を喚起する。 普通教科、専門教科と連携し、朝課外の内容を精査し、生徒の満足度を高める。 就職試験や大学入試の傾向を分析し、生徒に情報を提供することで基礎学力の重要性を認識させる。	A B A			
	キャリアプランニング能力の育成	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。			B
		コース選択、インターンシップなど系統立てた取り組みを通し、職業観・勤労観を養う。	コース選択、インターンシップなど系統立てた取り組みを通し、職業観・勤労観を養う。			A
		実習、課題研究を通し、様々な課題を発見、分析し、解決する能力を育成する。	A			

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	<p>A : 適切である</p> <p>B : 概ね適切である</p> <p>C : やや適切である</p> <p>D : 不適切である</p>
	<p>項目ごとの評価</p> <p>学校関係者評価委員会からの意見</p>
A	<p>いつも真剣にご指導いただき、落ち着いた状態で授業が実施されている。中退者の減少にもつながっている。ICT機器の導入により更なる深い授業を実施していただきたい。今後も生徒が学習意欲を持てるような指導をお願いしたい。</p>
A	<p>指導の徹底がなされ非常に落ち着いた状態に見受けられる。特に挨拶が良くでき年々明るい雰囲気を感じることができている。</p>
A	<p>本年度もコロナ禍の中、就職率100%が達成できたことは本当に素晴らしい。さすが浮羽工業である。県外就職も良いが地元にも少し目を向けた指導もお願いしたい。資格取得のデータの公開をお願いしたい。</p>

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度の主な課題	項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
研 修	授業改善活動の推進	授業改善に取り組む計画を立て、「ICT教育」等に重点を置いた授業活性化を図る。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した新たな取り組みへの挑戦。 授業参観WEEKをもっと活用し開かれた授業環境づくり。 研修案内の充実と研修への意識改革。 研究授業の実施方法について検討。 学校全体での若年者育成。 校外研修の実施内容の充実。 メール活用の推進。 	A	浮工の良いところは先生方の丁寧な授業である。これにICTを用いた授業で展開し生徒の満足度を向上させてほしい。
		授業改善への取組み（日頃の授業、研究授業等）を授業UP通信として定期発行する。	A				
		学期ごとに授業参観週間を設定して教員同士が授業の技術やスキルなどの共有を図る。	B				
	校内研修、校外研修、研究授業を活性化	職員ニーズ・時機をとらえた校内研修会を主体的に集中して取り組める内容にする。	B				
		若年者研修との連携を図っていく。	A				
キャリアアップ講座や諸研修案内の紹介や、研究発表紙の回覧に努める。	A						
教育情報	ICTを活用した効果的な授業の推進	電子黒板の活用事例を互いに紹介し、学習効果を高める。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 各教室にChromebookが整備されたので、各教科での活用の推進と取り扱いルールの改正を行う。 改築工事の伴い、ネットワーク構成が変化するため現状の把握とトラブルへの迅速な対応を行う。 	A	教育の情報化・機器の導入は素晴らしい。パソコンや電子黒板などICT機器を授業で積極的に利用してほしい。
		ICTを活用した学びを積極的にサポートする。	A				
		ICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。	A				
	ネットワークの安定運用	トラブルに迅速に対応できるサポート体制維持に努めるため、課職員のスキルアップを図る。	A				
		各科、各分掌と連携し既存データの整理・整頓を図る。	B				
ネットワークセキュリティを確保し、情報漏洩防止に努める。	A						
保 健	全職員と連携した保健業務を行う。	各部署と連携をとりながら、感染症対策を学校全体で行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナが「5類」に引き下げられるので、それに準じた感染症対策を行う。 保健室に来室した生徒に対して、挨拶・マナー指導をより徹底させる。 SCについては、保護者の利用は増えた。同じ生徒が受ける傾向にあるので、SCのより有効的な活用をはかる。 生徒主体による委員会活動になるように事前の指導をしっかりと行う。 	A	校内の掃除指導もきちんとなされており綺麗である。今後も環境美化に力を入れてほしい。校内に花も沢山あり気持ちが良い。
		保健室に来室する生徒へ適切に対応し、保健課職員と担任や学年等と連携に努める。	A				
		月1回の教育相談委員会等を利用して、情報を共有し、配慮すべき生徒の把握に努める。	B				
	日常の清掃活動を通して美化意識の向上に努める。	美化コンクールを毎学期実施し、美化意識を高める。	A				
		校内におけるゴミの持ち帰りを推進し、ゴミの減量を目指す。	B				
日々の清掃活動の状況を把握し、改善を図り、より一層校内美化に努める。	A						
総務企画	学校各種行事を円滑に遂行する。	式典や各種行事等において、各部署と協力、連携、共通認識を持ち、企画運営を行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 各種学校行事が、滞りなく実施できるよう各部署との連携や情報交換を入念に行う。 コロナ禍でのこれまでの経験を活かし、PTA行事の内容を工夫し、すべてのPTA関連行事が実施できるようする。 広報課と連携しながら、浮羽工業の良さを伝え、得意技コース制の認知度アップさせる。 総務企画内の業務分担および共有化を行う。 	A	急な変更等、各種学校行事の計画や円滑に実施できるよう何度も試行錯誤され感謝している。PTAとの連携も活発になされている。
		教務、広報と連携し、中学校訪問や体験入学の充実を行い、得意技コースの周知および本校の魅力が中学生に伝える。	A				
		各種行事の早期の提示を行い、職員の周知、情報共有を行なう。	A				
	保護者、地域、同窓会との協力関係を築き、学校の活性化につなげる。	PTA行事等への保護者への呼びかけを積極的におこない、理解や協力を得る。	A				
		公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。	A				
学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。	A						
広 報	地域や中学校に向けて広報活動を戦略的に展開する。	中学校や塾への広報活動を年間を通じて計画的・効果的に行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 中学校のみならず、校外での広報活動の展開を図る。 新生入生から情報収集を図り、広報活動の内容を再検討していく。 教員間における広報に対する情報共有、共通認識をさらに高めていく。 SNSを活用した発信をさらに充実していく。 	A	よくホームページでの情報発信がなされている。今年は動画等もあり活動が分かりやすくなった。空飛ぶ車いすを復活させることで広報活動の活性化に繋がるのではないかと。
		中学校や新入生から意欲的に情報収集を行うとともに、効果的な広報活動を展開していく。	B				
		SNSを駆使し、情報発信の幅を広げるとともに、動画配信等でわかりやすく本校の魅力が伝わるよう努めていく。	A				
	中学生体験入学、進路相談事業や高校説明会等において、本校の魅力を丁寧にわかりやすく伝える。	体験入学を通じて、中学生や保護者にもものづくりや本校の魅力を伝える計画・内容の向上に努める。	A				
		コース制、各科の内容、進路実績などをわかりやすく伝える。	A				
高校説明会においての説明内容を再検討し、気になる学校の1つになるよう努める。	A						
図 書	図書館の環境整備および図書資料の充実を図る。「朝の読書」など生徒の読書活動を推進する。	利用しやすい図書環境を提供する。学校図書館に適した図書を選定し、生徒の学習活動に対応する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 「朝の読書」のアンケート調査など啓発活動を進める。 図書委員による棚整理や図書館だよりの発行を続ける。 大規模改造に伴い、仮設図書館の充実をすすめる。 視聴覚教材の整備をすすめる。 芸術鑑賞教室は校外ホールでの実施を継続する。 	A	多くの生徒がもっと利用できるよう図書委員会の活発な活動と図書室の環境整備の充実をお願いしたい。芸術鑑賞教室も校外での実施は良かった。
		「朝の読書」を推進する。アンケート調査など啓発活動を進める。	B				
		図書委員会の、校内および校外活動を活性化させる。	A				
	図書館及び視聴覚室の環境整備を図る。芸術鑑賞教室を成功させる。	大規模改造に伴い、図書館棟内の移動準備、仮設図書館の環境整備を進める。	A				
		芸術鑑賞教室を成功させ、生徒の情操を育てる。	A				
視聴覚機器の維持管理を日頃より行い、利用しやすい視聴覚機器環境を提供する。	B						
生徒会指導	自治的活動の活性化を図る。	学校行事をけん引する生徒会・リーダー育成を図り、各種委員会と連携して、計画的、組織的な行事運営を行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動を更に充実させ、生徒の人間的成长を促す。 学校行事を通して互いを認めあえる生徒の育成を目指す。 行事の教育的効果生み出すことと、働き方改革に繋がる内容の両立を意識し、企画運営を行う。 広報課と連携を深め、中学生が高校生活を感じるような内容でPRしていく。 	A	コロナ禍の中、生徒の活動が制限されたが様々な企画を立て生徒の自主性が育まれ素晴らしいものができたと思います。生徒さんの成長がみられます。
		生徒一人ひとりが生徒会の一員であることを自覚させ、それぞれの立場で役割を果たす態度を養う。	A				
		学校行事等で、生徒一人ひとりの活躍に目を向け、褒めることで自己肯定感を育む。	B				
	魅力ある学校行事を企画し、学校PRに繋げる。	学校行事等の準備において、話し合い活動を活発に行い、全校生徒の主体性を向上させる。	A				
		生徒が身に付けた専門的な技術を、地域社会に広く知ってもらえるよう学校行事を企画・運営する。	A				
広報課と連携し、生徒会活動を計画的に地域社会に通知し、理解を得る。	B						
第1学年	社会人となるための基礎を作るため、感情学習と社会性の向上を行う。	集団行動や学校生活を通して、ルール・マナー・モラルの違いを意識した指導を行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ルールとモラル、マナーを切り分けて考えながら、実社会でも通用する価値観を育てることができた。しかし、まだミスや間違いも当然あるので、今後も1つ1つ丁寧に対応し、生徒自身の思考力および主体性を育てていく。 コース選択について、各学科と連携して各コースの説明を長期間に渡って行ってきた。その結果、生徒とも対話を重ね熟考されたコース決定ができた。基礎学力については、まだまだ伸ばす必要があるため、今後教科とも連携して学力アップを図る。 	A	宿泊研修ができず校内研修会の成果があったことは良かった。3年後の進路の実現に向け生徒の意識を高めてもらいたい。2年次から総合選択で科・コースを選べるようにしてはどうか。
		仲間意識や集団意識を常に持つように、社会性の伴う指導や課題設定を行う。	A				
		感情を言語化し、コントロールできるようになるために、生徒教員一体となって対話を活発に行う。	A				
	基礎学力の向上および3年間の進路計画を意識した生活習慣を養成する。	興味関心を持って学習に取り組めるように、出席率を高める指導と基礎学力を上げる指導を行う。	B				
		各学科と連携し、各コースについての知識理解を深める指導を行う。	A				
より充実した進路決定を実現するために、3年間の進路計画を意識した学習と学校生活を習慣づける。	A						
第2学年	2年後の進路実現のために基礎基本を身につけさせる。	学年が組織的に関わりながら、進路希望調査を2回行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査においては、実際に求人票や会社パンフレット等を1人3社程度持ち帰らせ、保護者に確認していただき、完成度の高いものとなった。今後、学年末調査終了後に校内順位を算出し、進路指導に活かす。 来年度においては進路実現に向けてキャリア教育を充実させ、基礎力診断テストやSPI模試等を十分に利用しながら全力で生徒をバックアップする。 	A	インターンシップや修学旅行等の諸行事がなくなる中、生徒達の頑張りがみられた。生徒会を中心にリーダーの育成を図り、生徒自ら考え行動する力を付けてもらいたい。来年度の活躍が楽しみである。
		基本ドリル学習を習慣化させ、確かな基礎学力を定着させる。	B				
		挨拶や身だしなみの指導により基本的生活習慣を身につけさせ、学習への意欲を高めさせる。	A				
	基本的な生活習慣、社会性、リーダーシップを身につけさせる。	資格取得に対する意識を向上させ、キャリアアップを図る。	A				
		インターンシップを通して、スキルアップや社会人としてのマナーを身につけさせる。	A				
文化祭・修学旅行などの学校行事を通し、リーダーシップを持った生徒を育てる。	A						

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度の主な課題
第3学年	生徒全員の進路実現（100%）を目指し、段階的な進路指導を行う。	5月の進路希望調査に向けてクラス面談を行い、学年団と進路・学科との情報共有を密にする。	A	A	・進路実現に向けたスケジュールを年度初めに生徒へ提示した。切れ目のない指導をしたことで意識の向上はできたが、目標とする一次合格率95%には届かなかった。ICTを活用して、場所に依らない進路指導を目指す。 ・1年次からリーダー発掘と育成に努めた。行事運営では思いやりを持ち、生徒が主役になるために丁寧な事前指導を継続していく。
		夏季休業中の進路課外を通して、基礎学力と基本的な生活習慣の定着を図る。	A		
		進路指導部と連携して、SPI検査や面接指導等を計画的に行うことで、一次合格率95%を目指す。	B		
		学年運営委員（リーダー）を中心に、学年集会や行事を生徒主体で行えるよう事前指導する。	A		
		即戦力となる人材育成のため、生徒主体で行事に取り組むようサポートする。	A		
工業教育	魅力ある学科、得意技コース制の活性化を図る。	学科の教育内容の充実を図るとともに、得意技コース制の特色を活かし幅広い知識を身に付けさせる。	B	B	・テクノボランティアなど制限がありましたが、各科の協力により活動ができた。生徒のアンケートでは、“学校の魅力が高まった”と感じる生徒多数おり次年度も地域に根差した活動を続けていきたい。 ・必要な実習機器の整備を進めたい。
		得意技コース制の運営を円滑にし、魅力を発信する取り組みを行う。	B		
		教員の指導力向上のため、研修会等への参加を積極的に行う。	B		
		テクノボランティアを充実させ、地域との連携を深めための施設設備の充実を図る。	B		
		テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	B		
建築科	基本的な生活習慣の確立を図る。	挨拶・身だしなみ・時間厳守・提出物期限の厳守などの指導の徹底を図る。	B	A	・挨拶・身だしなみなどの指導においては、一定の成果はあげられたが、今後も指導が必要な生徒もいるので、粘り強い指導を続けていきたい。 ・就職においては、面接指導を充実させるなどの取り組みにより成果が上げられた。この取り組みは次年度も継続していきたい。 ・資格試験においては何れの試験においても目標には届かなかった。目標が生徒の実態に見合っているか再検討を要する。またものづくり活動においては、十分な成果をあげることができ、地域貢献や広報活動につながった。しかし一部の職員に負担が偏る傾向が見られるため方策については改善の余地がある。
		実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。	A		
		担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	A		
		インターンシップや現場見学会の取り組みを充実させ、進路意識の高揚を図る。	A		
		希望進路実現に向けて全職員が面接指導を行い、進路内容の充実を図る。	A		
建築科	進路意識の高揚を図る。	得意技コースにおいて、生徒が具体的な目標を持って選択できるような授業展開を行う。	A	A	・資格試験については何れの試験においても目標には届かなかった。目標が生徒の実態に見合っているか再検討を要する。またものづくり活動においては、十分な成果をあげることができ、地域貢献や広報活動につながった。しかし一部の職員に負担が偏る傾向が見られるため方策については改善の余地がある。
		1年生は、ワープロ検定3級100%、3年生は建築製図認定試験50%、2級建築施工管理技術検定30%の合格率を目指す。	B		
		ものづくりを通して、建築技術の向上を図ると共に、テクノボランティア活動を行い、地域貢献や広報活動に努める。	A		
		製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動の充実を図る。	A		
		資格取得・ものづくりの充実を図る。	A		
環境デザイン科	人格形成と資格取得に取り組み、社会で即戦力となる人材を育成する。	日常の振舞いに礼節や正しいマナー身に付け、時間と規則を遵守できるように、社会性を広げる指導を行う。	A	A	・挨拶5S運動を中心に、社会人としてのマナーや礼儀を身に付けさせることができた。資格試験については、合格率向上のために、資格試験の厳選も視野に入れながら検討を重ねていきたい。 ・テクノボランティアを通して、地域と連携したもののづくりを実施することができた。さらにSNSを通して、学科の取り組みをPRし学校活性化に貢献することができた。 ・進路指導については、大きな成果として公務員2名の合格者を出すことができた。来年度以降も組織的に取り組み、実績を積み重ねていきたい。
		課外や放課後指導を職員間で協力し、全資格試験の合格率向上に繋げる。	B		
		日常や作業に潜むリスクを常に意識し、危険予知から安全対策を講じることができるよう指導を行う。	A		
		地域や社会の発展に繋がるような結果の出るテクノボランティアや実習に積極的に取り組む。	A		
		伝統を守りつつ、生徒の意見を反映させながら、日々新しい実習内容にチャレンジする。	B		
環境デザイン科	学科の特色を活かしたもののづくりを実践し、地域と連携することで学校の活性化に繋げる。	伝説を守りつつ、生徒の意見を反映させながら、日々新しい実習内容にチャレンジする。	B	A	・資格取得に積極的な姿勢があった。しかし、指導体制の充実までは行っていない。今後は複数で対応できるように整えて行きたい。 ・実習や課題研究を通して、生徒がものづくりに対する姿勢が良くなった。文化祭等を通して、機械科の魅力を発信できるようにしたい。
		出前授業や中学校訪問の機会を活用し、環境デザイン科の特色をPRする。	A		
		3年生は、進路指導部と連携し、進路先の研究を深め、適正率の高い第1希望の決定とその合格率を高める。	A		
		2年生は、インターンシップや工場見学などを通して、適正業種を考え、適正率の高い進路選択につなげる。	A		
		1年生は、技術基礎や現場見学を通じて、自己の特性理解を深め、得意技コース選択につなげる。	A		
機械科	社会で即戦力となるような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	各学年において、皆勤の生徒が70%以上を目指す。	B	A	・あいさつを含めた礼節の指導を行い、意識を高めることができていた。しかし、まだ指導が必要な生徒がいるため引き続き意識させていきたい。 ・資格取得に積極的な姿勢があった。今後は複数で対応できるように整えて行きたい。 ・実習や課題研究を通して、生徒がものづくりに対する姿勢が良くなった。文化祭等を通して、機械科の魅力を発信できるようにしたい。
		工業高校生らしい元気で清々しい挨拶や返事の徹底を図る。	A		
		授業等での報告・連絡・相談の徹底や身だしなみに関する指導を充実させる。	A		
		科の特色や生徒のニーズに応じた朝課外や資格指導を充実させる。	A		
		進路に関する知識や情報を収集し、個に応じた指導に努める。	B		
機械科	進路実現に向け、基礎学力の向上や長所の伸長を目指した指導を行う。	指導体制の充実や環境整備を行い、科の特色に応じた資格指導を行う。	A	A	・1年次より進路に対しての意識付けを行うことで、将来の目標により近いコース選択をできるようにする。さらに、その意識を持ち続けていけるような指導を行う。 ・各資格に対しての重要性を理解させ、クラス一丸となつての取得意欲を醸成するとともに、上級資格への挑戦意欲の向上を図る。 ・「あいさつ」を含めた規律の重要性を理解させ、社会人としての基本的な姿勢を身に付けさせる。 ・「ものづくり活動」において、科職員全体が関わっていく雰囲気づくりを行う。
		身につけた知識・技術を活かし、「ものづくり教室」の楽しさや喜びを体験させる。	A		
		「テクノボランティア」活動を活性化し、地域との連携を深める。	B		
		出前授業や中学校訪問の機会を活用し、機械科の特色、魅力を広報する。	B		
		身につけた知識・技術を活かし、「ものづくり教室」の楽しさや喜びを体験させる。	A		
電気科	社会人としてのマナーを習得させ、これからの時代を担う即戦力として通用する人材を育成する。	日頃より時間の厳守・身だしなみ・清掃・挨拶・言葉使い等の指導を行う。	A	A	・1年次より進路に対しての意識付けを行うことで、将来の目標により近いコース選択をできるようにする。さらに、その意識を持ち続けていけるような指導を行う。 ・各資格に対しての重要性を理解させ、クラス一丸となつての取得意欲を醸成するとともに、上級資格への挑戦意欲の向上を図る。 ・「あいさつ」を含めた規律の重要性を理解させ、社会人としての基本的な姿勢を身に付けさせる。 ・「ものづくり活動」において、科職員全体が関わっていく雰囲気づくりを行う。
		「半導体関連人材育成事業」を活用し、工場内における設備保全業務に対する意識の涵養を図る。	A		
		日常的に生徒と話すことで、それぞれの適正に応じた進路指導を行う。	A		
		共通受験の資格で学習法を会得させ、各自に必要な上級の資格に積極的に挑戦させる。	B		
		インターンシップや工場見学を通して、電気業務に必要なとされる責任感・使命感等の人間性を育む。	A		
電気科	資格取得率の向上と進路意識の高揚を図り、社会人として通用する資質を身につけさせる。	企業と連携し、実践的な講座を実施し、企業情報収集能力の育成を行い、進路決定率100%を達成する。	A	A	・1年次より進路に対しての意識付けを行うことで、将来の目標により近いコース選択をできるようにする。さらに、その意識を持ち続けていけるような指導を行う。 ・各資格に対しての重要性を理解させ、クラス一丸となつての取得意欲を醸成するとともに、上級資格への挑戦意欲の向上を図る。 ・「あいさつ」を含めた規律の重要性を理解させ、社会人としての基本的な姿勢を身に付けさせる。 ・「ものづくり活動」において、科職員全体が関わっていく雰囲気づくりを行う。
		ものづくりを基幹とした技術者集団を育成し、テクノボランティア活動を通じた社会貢献を定着させPR活動へと繋げる。	A		
		ものづくりに対する指導の充実とものづくりコンテストの入賞を目指す。	A		
		地域で必要とされる「テクノボランティア」を実施することで、信頼を醸成し、志願者増につなげる。	B		
		中学校訪問、出前授業の機会を活用し、電気科のPRに努める。	A		
材料技術科	基本的な生活習慣の確立を図る。	学科のすべての活動の中で、服装や礼儀、挨拶等の指導を徹底し、社会性を身に付けた生徒の育成を行う。	A	A	・日頃から生徒状況を報告し話し合いを行うことで、科職員全体で指導に当たることができた。次年度は、あいさつSが身につけられるよう科職員全体で生徒の指導に当たり、社会性を身に付けた生徒を育てて行きたい。 ・科職員全体で学習指導や面接指導などを行うことで、3年生の進路実現につなげることができた。しかし、金属熱処理技能士合格率70%を達成することができなかった。次年度は試験直前に集中講座を行うなど指導強化に努めていきたい。 ・出前授業に参加する機会がなかったが、産業教育フェアなどに参加し、材料技術科のPRにつなげることができた。次年度は、課題研究等を通して実験動画などを作成し、材料技術科の魅力が伝わるコンテンツを充実していきたい。
		日頃から、生徒状況を報告し合い、科職員全体で生徒を指導する体制を作る。	A		
		規律の大切さを実感させるために、実習においては、安全な操作方法や整理整頓の徹底を図る。	B		
		授業改善に取り組むとともに、放課後や考査前学習会で専門教科指導の充実を図る。	A		
		インターンシップの事前指導や面接指導を全職員で取り組む。	A		
材料技術科	学力向上に努め、資格取得の推進及び合格率の向上を目指し、進路実現につなげる。	授業や放課後の指導等を通して、金属熱処理技能士の合格率を70%を目指す。	C	A	・1年次より進路に対しての意識付けを行うことで、将来の目標により近いコース選択をできるようにする。さらに、その意識を持ち続けていけるような指導を行う。 ・各資格に対しての重要性を理解させ、クラス一丸となつての取得意欲を醸成するとともに、上級資格への挑戦意欲の向上を図る。 ・「あいさつ」を含めた規律の重要性を理解させ、社会人としての基本的な姿勢を身に付けさせる。 ・「ものづくり活動」において、科職員全体が関わっていく雰囲気づくりを行う。
		出前授業に積極的に参加し、材料技術科のPRを行う。	A		
		課題研究やものづくり教室を通して、テクノボランティア活動を行い地域貢献に努める。	A		
		生徒が積極的にものづくり活動が行えるように、ものづくりができる環境を充実させる。	B		
		ものづくり活動を通して、広報活動及び地域貢献を行う。	A		

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	生徒会を中心とした3年生としての自覚も持ち、あらゆる学校行事に積極的に取り組んでいるようである。来年度についても早期に進路実現100%になるよう指導をお願いしたい。
B	浮羽工業の魅力をもっと文化祭や広報活動等を通じ発信してほしい。地域への情報発信は重要であるため生徒の活動に関する広報を積極的に実施してほしい。 予算の削減等あると思うが、工夫しながら地域貢献活動をして欲しい。
A	うきは市図書館のブックエンドの製作やフットパダル消毒寄贈を行うなど地域への貢献も素晴らしいものがある。建築のコンペ作品も福岡県教育委員会賞の表彰を受け頑張っていることが嬉しく思う。
A	田主丸商店街等への地域貢献は素晴らしい。コース制の魅力を中学生や女子生徒にもっとPRをしてほしい。女子生徒の育成をお願いしたい。今年度の県の生徒研究発表会での発表は素晴らしいものがあつた。来年度は上位入賞を目指してほしい。
A	資格取得に前向きに取り組まれている。例年表彰等を受賞し成果を出している。今後も生徒たちに目的意識を持たせながら進路に必要なとされる資格を取得させて欲しい。
A	資格取得に前向きに取り組まれている。ICT機器も用いて丁寧に指導をされている。電気工事士に関する資格やものづくりコンテストなど今後も良い結果が出ることを期待している。
A	資格指導や進路指導がきちんとなされているため生徒たちも意欲を持ち前向きに取組んでいる姿勢が見受けられる。更なる進路実現に向けた指導をお願いしたい。

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- ・空飛ぶ車いすの復活に当たっては自動車研究部の指導体制や部員確保に努め活動を活発に行っていく。
- ・1人1台パソコンを活用し、わかる授業を多くの教職員が展開できるよう充実した職員研修を実施する。
- ・あいさつ5S活動を通じて、社会人として必要とされる礼儀やマナーを身に付けさせる。

評価項目以外のものに関する意見

- ・文化祭や体育祭等の学校行事については大変素晴らしいものがあり、感動させていただいた。
- ・生徒さんたちが、楽しそうに通っている姿は微笑ましい。また、資格取得等で自信に満ち溢れた姿は素晴らしいものがある。
- ・是非、いろんなことを中学生等にアピールしてほしい。